

# 「電気電子計測器の使い方」の評価方法

工学基礎実験 実験レポートルーブリック

構成には、課題を含みません（序論、実験方法、結果、考察、参考文献を記述する）

	A (10点)	B (7点)	C (5点)	D (0点)	倍率	倍率	倍率
体裁	表紙があり、題目、氏名、実験日、共同実験者が全て記述されている。	表紙があるが、題目、氏名、実験日、共同実験者のうち1つが記述されていない。	表紙があるが、題目、氏名、実験日、共同実験者のうち2つが記述されていない。	表紙があるが、題目、氏名、実験日、共同実験者のうち3つ以上が記述されていない。	×1.0	×1.0	×1.0
構成	序論・実験方法・結果・考察・参考文献・課題の全て記述されている。	序論・実験方法・結果・考察・参考文献・課題のうち1つが記述されていない。	序論・実験方法・結果・考察・参考文献・課題のうち2つが記述されていない。	序論・実験方法・結果・考察・参考文献・課題のうち3つ以上が記述されていない。	×1.0	×1.0	×1.0
文章	誤字脱字がなく、文章も正しく書かれている。	誤字脱字や、文章が正しく書かれていないところが数ヶ所ある。	誤字脱字や、文章が正しく書かれていない箇所が多くある。	誤字脱字や、文章が正しく書かれていない箇所がかなり多くある。	×1.0	×1.0	×1.0
序論	実験の目的とそれを意識した実験の背景が適切に記述されている	実験の目的と実験の背景が記述されているが、その間に関連性に不適切なところが少しある。	実験の目的と実験の背景が記述されているが、不適切なところがかなりある。	実験の目的と実験の背景のうち、記述されていないものがある。	×1.0	×1.0	×1.0
実験方法	実験方法が正しく記述されている。実験器具の名称やメーカーがきちんと記述される。	実験方法や実験器具について正しく記述されていないところが数ヶ所ある。	実験方法や実験器具について正しく記述されていないところが多くある。	実験方法や実験器具のうち、記述されていないものがある。	×1.0		×1.0
結果	実験結果が正しい書式でグラフや表にまとめられている。実験結果の要点を文章で正しく記述している。実験誤差を考慮し、複数回の実験結果を記述している	実験結果をまとめたグラフや表や要点の記述、実験誤差が全て記述されているが、不適切なところが数ヶ所見られる。	実験結果をまとめたグラフや表や要点の記述、実験誤差が全て記述されているが、不適切なところが多く見られる。	実験結果をまとめたグラフや表や要点の記述、実験誤差のうち記述されていないものがある。	×2.5		×1.5
考察	目的を意識ながら実験結果について科学的な根拠・分析を行い、論理的に考察している。問題点がある場合には、改善策が具体的に記述されている。課題に対する正しい回答が記述されている。	目的を意識ながら実験結果を考察しているが、論理的な考察が不十分である。問題点がある場合の改善策が適切に記述されていない。課題に対して回答が記述されているが、不適切なところが数ヶ所見られる。	実験結果を考察しているが、論理的な考察がないか、間違っている。問題点がある場合の改善策が間違っている。課題に対して回答が記述されているが、不適切なところが多く見られる。	実験結果を考察していない。問題点がある場合の改善策が記述されていない。課題に対して回答が記述されていない。	×2.5	×2.0	×1.5
製作物	製作物が完成しており、修正が必要な箇所がない。	製作物が完成しているが、修正が必要な箇所が少しある。	製作物が完成しているが、修正が必要な箇所が多く見られる。	製作物を完成できなかった。		×2.0	×2.0
発表	発表技術・発表内容・質疑応答のどれも申し分のない発表である。	発表技術・発表内容・質疑応答に少し不適切なところがある発表である。	発表技術・発表内容・質疑応答に不適切なところが多い発表である。	発表していない。		×2.0	